

中小企業の設備投資を支援します!



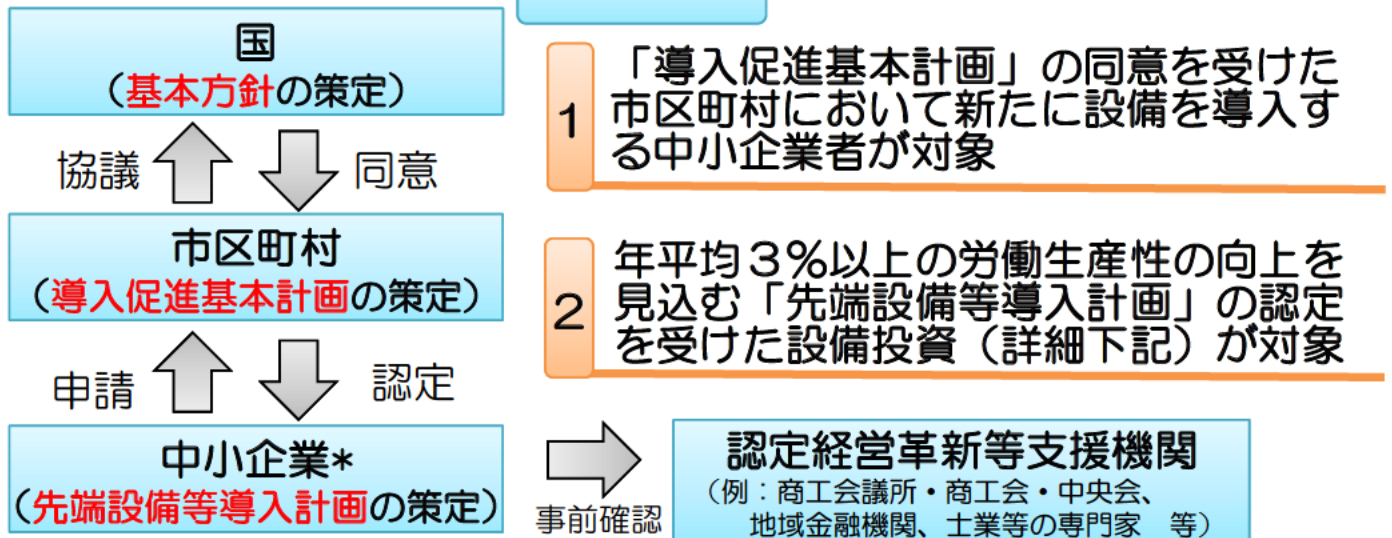
中小企業の生産性向上に向けた取組を支援するため、市区町村の認定を受けた中小企業の設備投資を支援します。

認定を受けた中小企業の設備投資に対して、臨時・異例の措置として、地方税法において償却資産に係る固定資産税の特例を講じます。今般、本特例の対象設備に、事業用家屋と構築物を追加するとともに、2021年3月末までとなっている適用期限を2年間延長*します。

市町村の判断により、新規取得設備の固定資産税が最大3年間ゼロ*になります

*2021年3月末までとなっている適用期限を2023年3月末まで2年間延長
*課税標準を市町村の条例で定める割合（ゼロ～1/2）を乗じて得た額とする

POINT!



*中小企業等経営強化法第2条第1項に規定する中小企業者が対象。ただし、固定資産税の特例を利用できるのは、資本金1億円以下の法人等（大企業の子会社を除く）に限ります。

○対象設備(固定資産税の特例)

(注) 市区町村により 異なる場合があります

商品の生産若しくは販売又は役務の提供の用に直接供する設備であって、生産性向上に資する指標が旧モデル比で年平均1%以上向上する下記設備（事業用家屋除く）。

【設備の種類等（最低取得価額／販売開始時期）】

- ◆機械装置（160万円以上／10年以内）
- ◆測定工具及び検査工具（30万円以上／5年以内）
- ◆器具備品（30万円以上／6年以内）
- ◆建物附属設備（60万円以上／14年以内）
- ◆構築物（120万円以上／14年以内）
- ◆事業用家屋は、取得価額の合計額が300万円以上の先端設備等とともに導入されたもの

お問い合わせ先

<先端設備等導入計画の作成等について> 先端設備等の導入先の市区町村先端設備等導入計画担当課
<税制について> 中小企業税制サポートセンター 電話：03-6281-9821
<制度について> 中小企業庁 技術・経営革新課（イノベーション課） 電話：03-3501-1816